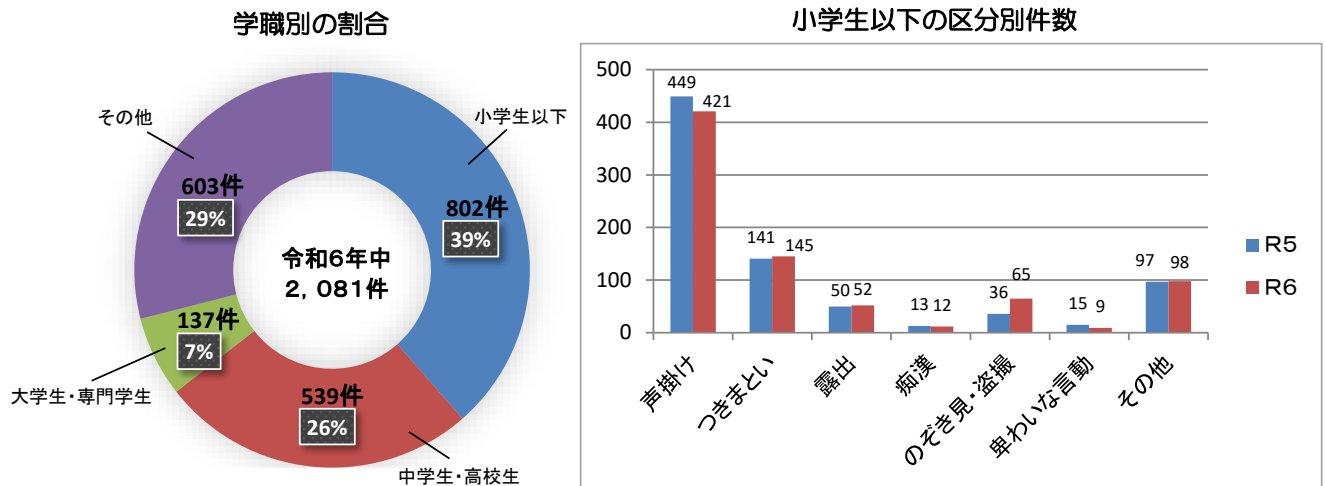


小学生以下を対象とした脅威事犯の分析結果【令和6年中】

1 情報件数

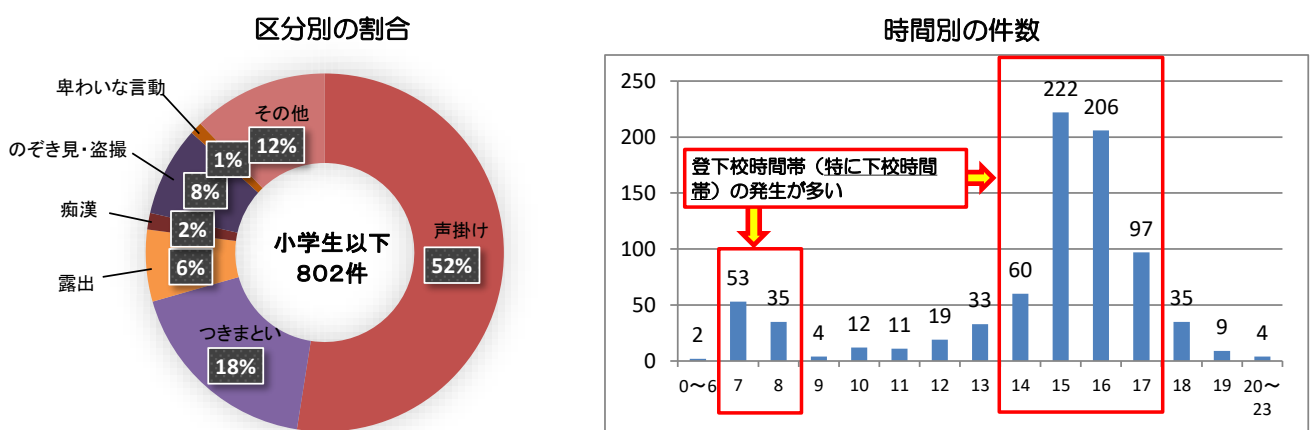


※ 各円グラフの「%」は、小数点以下を四捨五入していますので、合計しても100%にならない場合があります。

令和6年中の脅威事犯のうち、小学生以下を対象としたものは802件（前年比+1件）で、全体の39%を占めています。
区分別で見ると、依然として「声掛け」の件数が多く、また、「のぞき見・盗撮」の件数が前年に比べて増加しています。

2 分析結果

(1) 全体



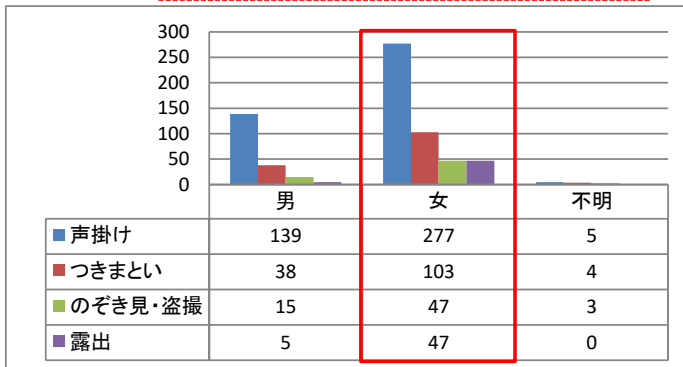
区分別では、「声掛け」421件（52%）と「つきまとい」145件（18%）で、全体の情報件数の約70%を占めています。

時間別では、午前7時から午前9時までの間に88件（11%）、午後2時から午後6時までの間に585件（73%）発生しており、登下校時間帯に多く発生しています。

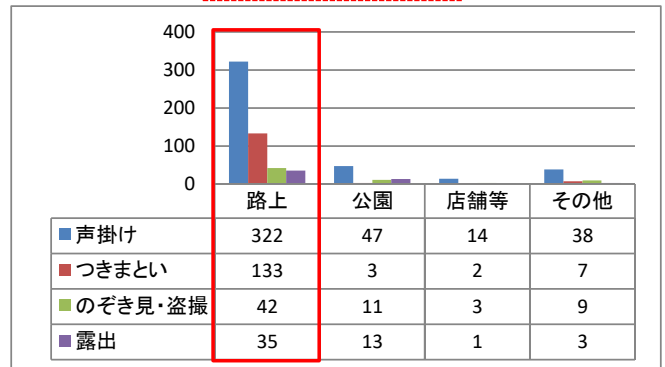
(2) 詳細分析

小学生以下の子供を対象とする脅威事犯のうち、情報件数が多い、声掛け、つきまとい、のぞき見・盗撮、露出事案について、詳細な分析を行った結果です。

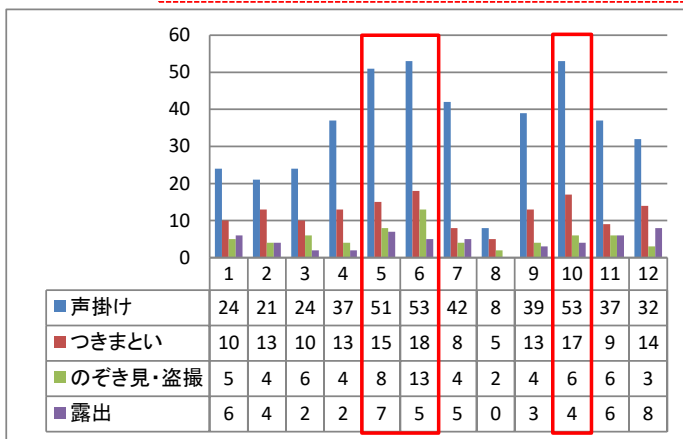
① 性別 男児に比べ、女児が被害対象になりやすい傾向にある。



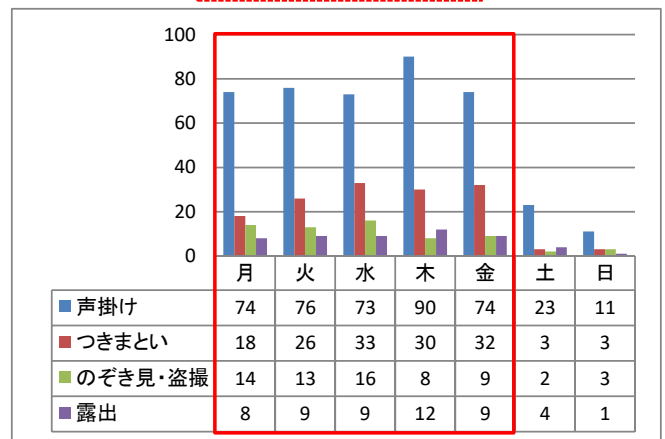
② 場所別 路上での発生割合が高い。



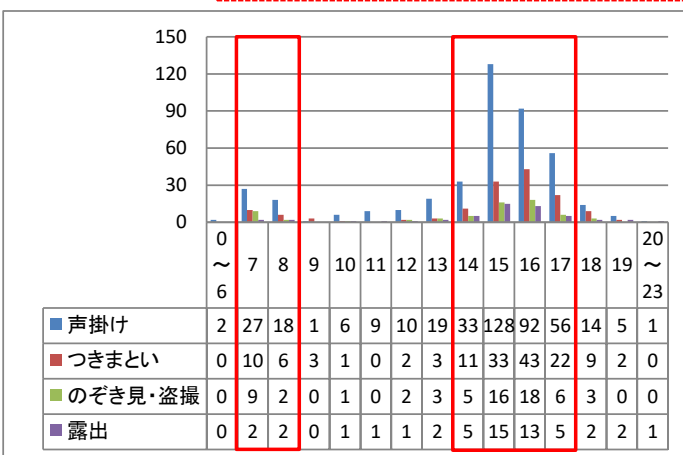
③ 月別 5、6、10月の発生が多く、8月(夏休み期間)の発生は少ない。



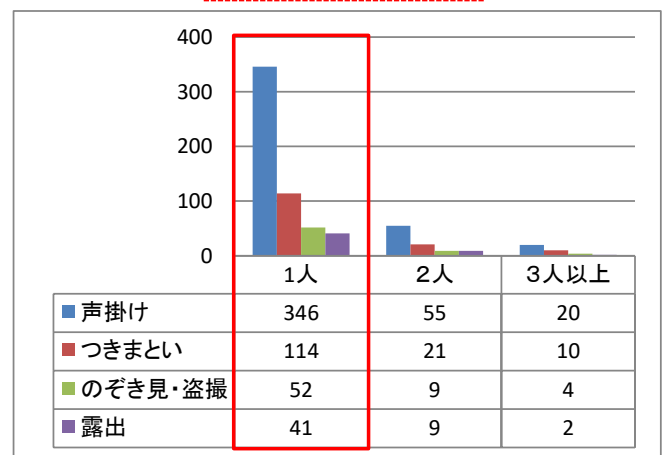
④ 曜日別 平日に発生が集中している。



⑤ 時間帯別 登下校時間帯(特に下校時間帯)に発生が集中している。



⑥ 状況別 1人で行動中の被害が多い。



【子供の安全を守るために】

- 小学生以下の子供に対する声掛けやつきまとい等は、登下校時間帯に路上で多く発生しています。
- 特に、登下校時間帯における子供の見守り活動が被害防止に繋がります。
- 被害に遭わないために、保護者・学校関係者の皆様は、次の点を子供たちと話し合いましょう。
 - ・ 外では1人になることをできるだけ避け、複数人で行動する。
 - ・ 人通りの少ない道路や見通しが悪い場所には、近づかないようにする。
 - ・ 知らない人に声を掛けられ、変だと思ったら、はっきりと断り、その場からすぐに逃げる。
 - ・ 逃げるときは、防犯ブザーを活用したり、大声を出したりし、近くにいる大人に知らせる。
 - ・ 外出する際は、どこで誰と遊ぶのか、帰宅する時間はいつなのかを保護者に伝える。